



2023年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年4月28日

上場会社名 ナブテスコ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6268 URL <http://www.nabtesco.com>
 代表者（役職名）代表取締役（氏名）木村 和正
 問合せ先責任者（役職名）コーポレート・コミュニケーション部長（氏名）峯岸 康（TEL）03-5213-1134
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（電話会議、機関投資家・アナリスト向け）

（表示単位未満四捨五入）

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第1四半期	82,193	16.8	5,779	15.7	10,825	—	7,145	—	6,699	—	8,412	—
22年12月期第1四半期	70,386	△2.3	4,995	△24.9	△5,069	—	△3,912	—	△4,388	—	652	△99.2

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第1四半期	55.82	55.82
22年12月期第1四半期	△36.57	△36.57

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
23年12月期第1四半期	434,565	266,523	251,844	58.0
22年12月期	459,293	263,228	248,696	54.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	39.00	—	39.00	78.00
23年12月期	—	—	—	—	—
23年12月期（予想）	—	40.00	—	40.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	161,000	13.2	10,500	33.1	12,700	—	7,400	—	61.67
通期	339,000	9.8	26,200	44.8	29,200	85.2	19,500	106.0	162.50

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

上記の連結業績予想における「税引前利益」及び「親会社の所有者に帰属する当期利益」の対前年同期増減率が「営業利益」の増減率に比較して大幅に変動しているのは、前期（2022年12月期）において株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズの株式について、前期末の株価に基づく評価損を計上したことによります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 0社(社名) 、除外 0社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

23年12月期1Q	121,064,099株	22年12月期	121,064,099株
23年12月期1Q	1,032,713株	22年12月期	1,058,550株
23年12月期1Q	120,024,927株	22年12月期1Q	119,979,545株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	5
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
4. 補足情報	14
(1) セグメント別受注残高	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、精密減速機において産業用ロボット向けの高い需要が継続したことに加え、航空機器、舶用機器でも需要が好調であったことから、売上高は82,193百万円、営業利益は5,779百万円となりました。また、株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ（以下、ハーモニック社という）の株価変動に伴う評価益等を計上したことにより、税引前四半期利益は10,825百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は6,699百万円となりました。

① 受注高、売上高、営業利益

当第1四半期連結累計期間の受注高は、前年同期比3,669百万円（△4.2%）減少し84,426百万円となりました。売上高は、同11,807百万円（16.8%）増加し82,193百万円となり、営業利益は、同784百万円（15.7%）増加し5,779百万円となりました。売上高営業利益率は7.0%となりました。

セグメント別概況は次のとおりです。

【受注高】

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	増減率 (%)
コンポーネントソリューション事業	38,666	34,318	△11.2
トランスポートソリューション事業	18,238	20,681	13.4
アクセシビリティソリューション事業	25,740	25,661	△0.3
その他	5,450	3,766	△30.9
合計	88,095	84,426	△4.2

【売上高】

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	増減率 (%)
コンポーネントソリューション事業	31,293	38,082	21.7
トランスポートソリューション事業	14,716	16,853	14.5
アクセシビリティソリューション事業	21,536	23,203	7.7
その他	2,841	4,055	42.7
合計	70,386	82,193	16.8

【営業利益又は損失】

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	増減率 (%)
コンポーネントソリューション事業	3,835	3,972	3.6
トランスポートソリューション事業	1,060	1,452	37.0
アクセシビリティソリューション事業	2,280	2,543	11.5
その他	△75	405	—
全社又は消去	△2,105	△2,592	—
合計	4,995	5,779	15.7

【コンポーネントソリューション事業】

コンポーネントソリューション事業の受注高は、前年同期比4,349百万円（△11.2%）減少し34,318百万円となりました。売上高は、同6,789百万円（21.7%）増加し38,082百万円、営業利益は、同137百万円（3.6%）増加し3,972百万円となりました。

精密減速機は、前年に引続きEV関連への高い設備需要により、大型の産業用ロボット向け需要が好調であったことから、売上高は前年同期比で増加となりました。

建設機械向け油圧機器は、中国市場において需要低迷が続いたものの、欧米、東南アジア市場での需要が堅調に推移し、売上高は前年同期並みとなりました。

【トランスポートソリューション事業】

トランスポートソリューション事業の受注高は、前年同期比2,442百万円（13.4%）増加し20,681百万円となりました。売上高は、同2,137百万円（14.5%）増加し16,853百万円、営業利益は、同392百万円（37.0%）増加し1,452百万円となりました。

鉄道車両用機器は、国内市場で新車向け投資の抑制が継続し、売上高は前年同期比で減少となりました。

航空機器は、防衛省向け及び民間航空機向けともに需要が回復基調となり、売上高は前年同期比で増加となりました。

商用車用機器は、国内における顧客の減産影響が緩和したことから、売上高は前年同期比で増加となりました。

船用機器は、国内外ともにMRO（Maintenance, Repair, Overhaul）に加え新造船向け需要も好調に推移し、売上高は前年同期比で増加となりました。

【アクセシビリティソリューション事業】

アクセシビリティソリューション事業の受注高は、前年同期比79百万円（△0.3%）減少し25,661百万円となりました。売上高は、同1,668百万円（7.7%）増加し23,203百万円、営業利益は、同263百万円（11.5%）増加し2,543百万円となりました。

自動ドア事業は、国内外の建物用ドア需要が堅調に推移したことに加え、為替効果により売上高は前年同期比で増加となりました。

【その他】

その他の受注高は、前年同期比1,684百万円（△30.9%）減少し3,766百万円となりました。売上高は、同1,214百万円（42.7%）増加し4,055百万円、営業利益は、同480百万円増加し405百万円となりました。

包装機は、電子部品不足による影響が一部緩和したことにより、売上高は前年同期比で増加となりました。

(参考) 地域ごとの情報

【売上高】

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	増減率 (%)
日本	39,847	43,750	9.8
中国	10,742	13,516	25.8
その他アジア	4,258	4,617	8.4
北米	4,220	5,690	34.8
ヨーロッパ	10,219	13,843	35.5
その他地域	1,101	776	△29.5
合計	70,386	82,193	16.8

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

② 税引前四半期利益

金融収益は、主にハーモニック社株式の評価益4,001百万円（売却の一部完了に伴う評価益886百万円、引続き保有する同社株式について当第1四半期連結会計期間末の株価で評価したことに伴う評価益3,114百万円）等により4,305百万円となりました。金融費用は、134百万円となりました。持分法による投資利益は874百万円となりました。その結果、税引前四半期利益は前年同期比15,894百万円増加し、10,825百万円となりました。

③ 親会社の所有者に帰属する四半期利益

以上の結果、法人所得税費用3,680百万円、及び非支配持分に帰属する四半期利益446百万円を差引いた親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比11,087百万円増加し、6,699百万円となりました。

また、基本的1株当たり四半期利益は同92.39円増加し、55.82円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2022年12月31日)	当第1四半期 連結会計期間末 (2023年3月31日)	増減額
資産	459,293	434,565	△24,728
負債	196,064	168,041	△28,023
資本	263,228	266,523	3,295

【資産】

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は259,586百万円、非流動資産は174,978百万円であり、その結果、資産合計は434,565百万円と前連結会計年度末比24,728百万円の減少となりました。主な増加要因は、棚卸資産の増加5,618百万円、有形固定資産の増加4,918百万円、及びのれんの増加5,442百万円です。主な減少要因は、現金及び現金同等物の減少24,988百万円、営業債権の減少4,565百万円、及びハーモニック社株式売却の一部完了等による売却目的で保有する資産の減少13,901百万円です。

【負債】

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は144,161百万円、非流動負債は23,881百万円であり、その結果、負債合計は168,041百万円と前連結会計年度末比28,023百万円の減少となりました。主な増加要因は、営業債務の増加2,993百万円です。主な減少要因は、ハーモニック社株式売却の一部完了等によるその他の金融負債の減少23,619百万円、未払法人所得税の減少8,640百万円です。

【資本】

当第1四半期連結会計期間末の資本合計は266,523百万円となりました。親会社の所有者に帰属する持分合計は251,844百万円と前連結会計年度末比3,148百万円の増加となりました。主な増加要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益6,699百万円です。主な減少要因は、配当による利益剰余金の減少4,693百万円です。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

(会計方針の変更)

当社グループは、当第1四半期連結会計期間より、以下の基準書を適用しています。当該基準書を適用したことによる当要約四半期連結財務諸表への影響はありません。

基準書	基準名	新設・改訂の概要
IAS第12号	法人所得税	単一の取引から生じた資産及び負債に係る繰延税金の会計処理を明確化

3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	注記 番号	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		124,413	99,425
営業債権		77,227	72,662
契約資産		2,165	3,063
その他の債権		1,301	1,333
棚卸資産		49,210	54,828
その他の金融資産		1,733	1,073
その他の流動資産		5,445	7,072
小計		261,494	239,457
売却目的で保有する資産		34,030	20,130
流動資産合計		295,524	259,586
非流動資産			
有形固定資産		96,082	101,000
無形資産		6,373	6,435
使用権資産		10,129	9,700
のれん		17,899	23,341
投資不動産		2,066	2,055
持分法で会計処理されている投資		17,729	18,361
その他の金融資産		10,041	10,675
繰延税金資産		2,281	2,311
その他の非流動資産		1,168	1,100
非流動資産合計		163,768	174,978
資産合計		459,293	434,565

(単位：百万円)

	注記 番号	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務		56,119	59,112
契約負債		7,652	9,640
借入金		19,943	17,756
その他の債務		19,250	17,500
未払法人所得税		11,734	3,094
引当金		1,678	2,035
リース負債		2,640	2,664
その他の金融負債		47,267	23,648
その他の流動負債		6,292	8,711
流動負債合計		172,577	144,161
非流動負債			
借入金		366	315
リース負債		8,403	8,018
退職給付に係る負債		8,472	8,856
繰延税金負債		4,054	4,514
その他の金融負債		—	9
その他の非流動負債		2,193	2,169
非流動負債合計		23,488	23,881
負債合計		196,064	168,041
資本			
資本金		10,000	10,000
資本剰余金		15,048	15,013
利益剰余金		215,670	217,661
自己株式		△4,646	△4,537
その他の資本の構成要素		12,624	13,707
親会社の所有者に帰属する持分合計		248,696	251,844
非支配持分		14,532	14,680
資本合計		263,228	266,523
負債及び資本合計		459,293	434,565

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記 番号	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	2	70,386	82,193
売上原価		△52,184	△60,770
売上総利益		18,202	21,423
その他の収益		350	238
販売費及び一般管理費		△13,487	△15,718
その他の費用		△70	△163
営業利益	2	4,995	5,779
金融収益		889	4,305
金融費用		△11,764	△134
持分法による投資利益		811	874
税引前四半期利益又は損失(△)		△5,069	10,825
法人所得税費用		1,157	△3,680
四半期利益又は損失(△)		△3,912	7,145
四半期利益又は損失(△)の帰属			
親会社の所有者		△4,388	6,699
非支配持分		476	446
四半期利益又は損失(△)		△3,912	7,145
1株当たり四半期利益又は損失(△)			
基本的1株当たり四半期利益又は損失(△)(円)		△36.57	55.82
希薄化後1株当たり四半期利益又は損失(△)(円)		△36.57	55.82

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記 番号	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期利益又は損失(△)		△3,912	7,145
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の純変動		115	7
純損益に振り替えられることのない 項目合計		115	7
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額		4,448	1,259
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計		4,448	1,259
税引後その他の包括利益合計		4,564	1,266
四半期包括利益合計		652	8,412
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		△539	7,782
非支配持分		1,190	630
四半期包括利益合計		652	8,412

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	注記 番号	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						在外営業活動体 の換算差額	公正価値の変動 による評価差額
2022年1月1日残高		10,000	14,961	214,791	△4,784	1,874	3,069
四半期損失(△)		—	—	△4,388	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	3,734	115
四半期包括利益合計		—	—	△4,388	—	3,734	115
自己株式の取得及び処分等		—	—	△10	52	—	—
配当金		—	—	△4,692	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		—	—	3	—	—	△3
株式報酬取引		—	28	—	—	—	—
所有者との取引額等合計		—	28	△4,700	52	—	△3
2022年3月31日残高		10,000	14,989	205,704	△4,732	5,607	3,181

	注記 番号	その他の資本の構成要素		親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
		確定給付負債 (資産)の純額の 再測定	合計			
2022年1月1日残高		—	4,942	239,910	15,084	254,995
四半期損失(△)		—	—	△4,388	476	△3,912
その他の包括利益		—	3,849	3,849	715	4,564
四半期包括利益合計		—	3,849	△539	1,190	652
自己株式の取得及び処分等		—	—	42	—	42
配当金		—	—	△4,692	△2,989	△7,681
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		—	△3	—	—	—
株式報酬取引		—	—	28	—	28
所有者との取引額等合計		—	△3	△4,622	△2,989	△7,611
2022年3月31日残高		—	8,789	234,750	13,286	248,036

当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	注記 番号	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						在外営業活動体 の換算差額	公正価値の変動 による評価差額
2023年1月1日残高		10,000	15,048	215,670	△4,646	9,361	3,263
四半期利益		—	—	6,699	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	1,076	7
四半期包括利益合計		—	—	6,699	—	1,076	7
自己株式の取得及び処分等		—	—	△16	109	—	—
配当金		—	—	△4,693	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		—	—	—	—	—	—
株式報酬取引		—	△35	—	—	—	—
所有者との取引額等合計		—	△35	△4,708	109	—	—
2023年3月31日残高		10,000	15,013	217,661	△4,537	10,437	3,270

	注記 番号	その他の資本の構成要素		親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
		確定給付負債 (資産)の純額の 再測定	合計			
2023年1月1日残高		—	12,624	248,696	14,532	263,228
四半期利益		—	—	6,699	446	7,145
その他の包括利益		—	1,083	1,083	184	1,266
四半期包括利益合計		—	1,083	7,782	630	8,412
自己株式の取得及び処分等		—	—	94	—	94
配当金		—	—	△4,693	△482	△5,175
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		—	—	—	—	—
株式報酬取引		—	—	△35	—	△35
所有者との取引額等合計		—	—	△4,634	△482	△5,117
2023年3月31日残高		—	13,707	251,844	14,680	266,523

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

2. 事業セグメント

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、ビジネスモデルの類似性に基づき、事業セグメントを集約した上で、「コンポーネントソリューション事業」、「トランスポートソリューション事業」、「アクセシビリティソリューション事業」の3報告セグメントに区分しています。

各報告セグメントの区分に属する主な事業内容は以下のとおりです。

事業区分	主な事業内容
コンポーネントソリューション事業	産業用ロボット部品、建設機械用機器等及びこれらの部品の設計、製造、販売、保守、修理
トランスポートソリューション事業	鉄道車両用ブレーキ装置・自動扉装置、航空機部品、自動車用ブレーキ装置・駆動制御装置、船用制御装置等及びこれらの部品の設計、製造、販売、保守、修理
アクセシビリティソリューション事業	建物及び一般産業用自動扉装置、プラットフォーム安全設備等及びこれらの部品の設計、製造、販売、据付、保守、修理

(2) 報告セグメントに関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	要約四半期連結損益計算書計上額
	コンポーネント	トランスポート	アクセシビリティ	計				
売上高								
外部売上高	31,293	14,716	21,536	67,544	2,841	70,386	—	70,386
セグメント間売上高	584	300	0	885	48	933	△933	—
売上高合計	31,877	15,016	21,536	68,429	2,890	71,319	△933	70,386
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	3,835	1,060	2,280	7,175	△75	7,100	△2,105	4,995
金融収益				—				889
金融費用				—				△11,764
持分法による投資利益				—				811
税引前四半期損失				—				△5,069

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装機械、立体モデル作成装置、工作機械等及びこれらの部品の設計、製造、販売、保守、修理を行う事業で構成されています。

2 売上高の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△)) の調整額は、各セグメントに配賦されない全社損益等です。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	要約四半期 連結損益 計算書計上額
	コンポー ネント	トランス ポート	アクセシ ビリティ	計				
売上高								
外部売上高	38,082	16,853	23,203	78,138	4,055	82,193	—	82,193
セグメント間売上高	716	316	4	1,035	96	1,131	△1,131	—
売上高合計	38,798	17,168	23,207	79,173	4,151	83,324	△1,131	82,193
セグメント利益 (営業利益)	3,972	1,452	2,543	7,967	405	8,372	△2,592	5,779
金融収益				—				4,305
金融費用				—				△134
持分法による投資利益				—				874
税引前四半期利益				—				10,825

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装機械、立体モデル作成装置、工作機械等及びこれらの部品の設計、製造、販売、保守、修理を行う事業で構成されています。

2 売上高の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益（営業利益）の調整額は、各セグメントに配賦されない全社損益等です。

4. 補足情報

(1) セグメント別受注残高

セグメントの名称	前第1四半期連結会計期間末 (2022年3月31日)		当第1四半期連結会計期間末 (2023年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
コンポーネントソリューション事業	41,633	27.3	36,738	23.2
トランスポートソリューション事業	55,662	36.4	63,493	40.1
アクセシビリティソリューション事業	42,741	28.0	49,273	31.1
その他	12,742	8.3	8,806	5.6
合計	152,779	100.0	158,310	100.0